

インフルエンザワクチン予防接種事業について

令和2年9月23日
健康保険部 保健予防課

1 事業の目的

新型コロナウイルス感染症の拡大期と季節性インフルエンザの流行期が重なった場合、発熱者の集中による医療現場での混乱や、帰国者・接触者外来等の円滑な運営に支障を来たことが予想され、それぞれの治療に悪影響を及ぼすことが考えられる。

ついては、インフルエンザ予防接種費用について、高齢者については全部を、また、中学生以下の子ども、妊婦については一部を市が負担することで、ワクチンの接種を促進し、もってインフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行を防ぐことを目的とする。

2 対象者

対 象		対象回数	対象者	接種見込	助成額等
高齢者	原則65歳以上	1回	91,742名	56,366件	自己負担 0円 (現行1,400円)
中学生以下の子ども (H17.4.2生まれ～接種日当日に生後6ヶ月)	① 13歳未満	2回※	36,647名	52,771件	接種1回につき 2,000円助成 (現行助成なし) 【医療機関代理受領方式】 助成額を差し引いた金額で接種。
	② 13歳以上	1回	9,932名	7,151件	
妊婦 (接種日現在、妊娠が確認されている者)		1回	2,601名	1,872件	

※接種間隔は2～4週間。ただし、免疫効果を考慮すると4週間が望ましい

3 事業実施時期

令和2年10月1日～令和3年3月31日

4 所要経費

インフルエンザワクチン予防接種事業 214,330千円

財源	国	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	95,308千円
	県	インフルエンザ予防接種助成事業費補助金	119,022千円

(1) 事務的経費 11,830千円

医療機関への事務手数料、消耗品費、通信運搬費、人件費 等

(2) ワクチン接種の助成に係る経費 202,500千円

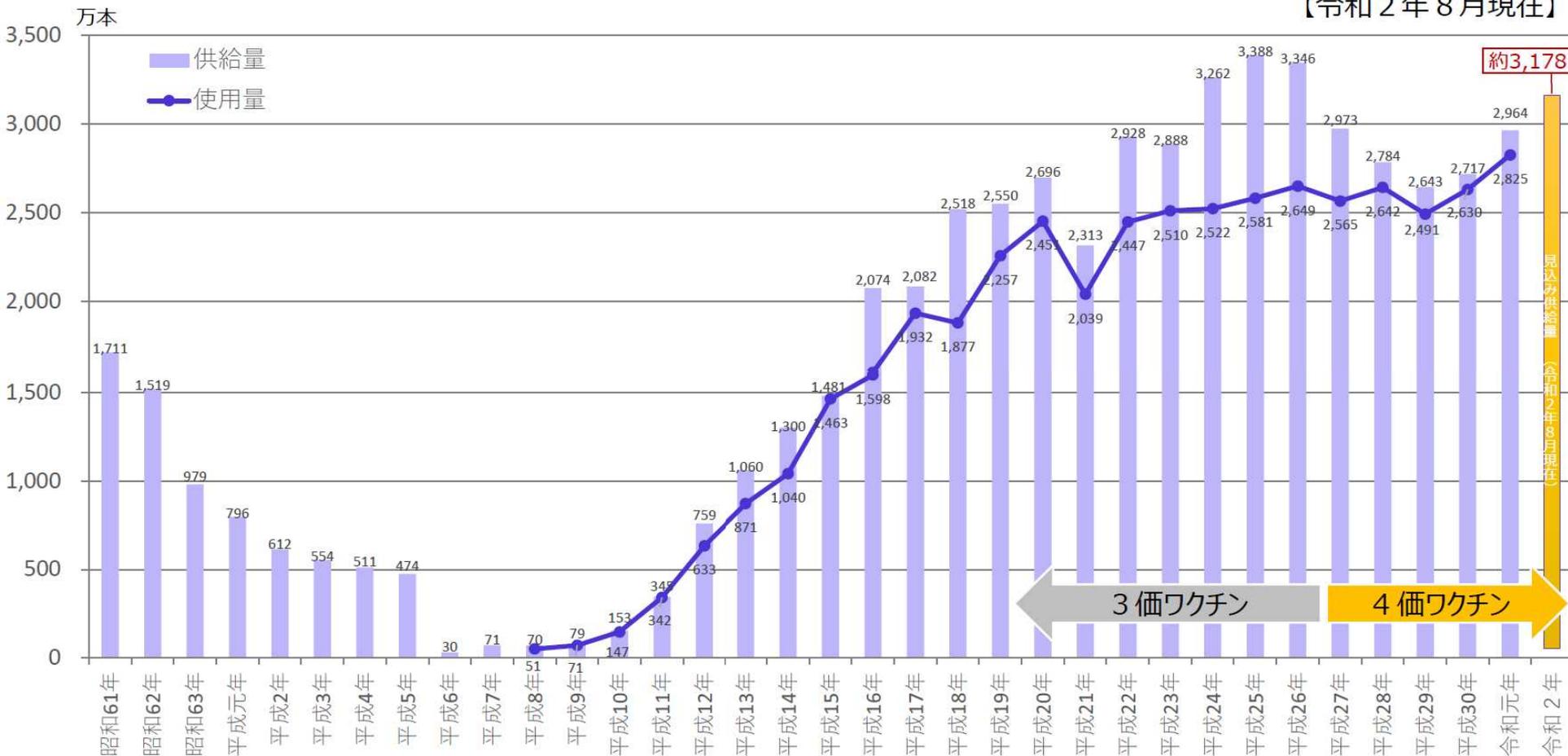
委託料	原則65歳以上 (心臓等に障害があり、身の回りの生活を制限される 60歳以上の者を含む。)		78,912千円
補助金	中学生以下の子ども (H17.4.2生まれ～ 接種日当日に生後6ヶ月)	1 3歳未満	105,542千円
		1 3歳以上	14,302千円
	妊婦 (接種日現在、妊娠が確認されている者)		3,744千円

参考 2020/21シーズンのインフルエンザワクチンの供給について

令和2年8月26日
厚生労働省
資料(抜粋)

○2020/21シーズンに供給されるインフルエンザワクチンの見込み量は約3,178万本と、昨年度から約7%増加し、4価ワクチンに変更された平成27年以降で最大の供給量となる見込み。統計のある平成8年以降、最大だった昨年の使用量(2,825万本)と比較すると、約12%多い。

【令和2年8月現在】



※1 平成7年以前の使用量は不明

※2 1mL換算